

# 被害を拡大させないためには 早期発見・早期駆除 が重要です。

被害が確認されている樹種はミズナラ、カシワ、コナラ、クリの4種で、ミズナラが最も枯死しやすいことが、分かっています。

## 被害木の特徴



写真等提供：山形県森林研究研修センター

(他県の被害木)

夏の盛りに紅葉したように枯れる  
(急速に枯れることから落葉しない)



写真等提供：森林総合研究所関西支所

(他県の被害木)

根元には細かな木くずがたくさん  
散らかっている。

被害木と思われる木を発見したら、下記にご連絡ください。

連絡先(担当課:林業振興課)	電話番号
東青地域県民局地域農林水産部	017-734-9962
中南地域県民局地域農林水産部	0172-33-3857
三八地域県民局地域農林水産部	0178-23-3595
西北地域県民局地域農林水産部	0173-72-6613
上北地域県民局地域農林水産部	0176-24-3379
下北地域県民局地域農林水産部	0175-23-6855

## 青森県農林水産部林政課

青森市長島1-1-1 (TEL:017-734-9513 FAX:017-734-8145)

# ナラ枯れ被害が発生しました！

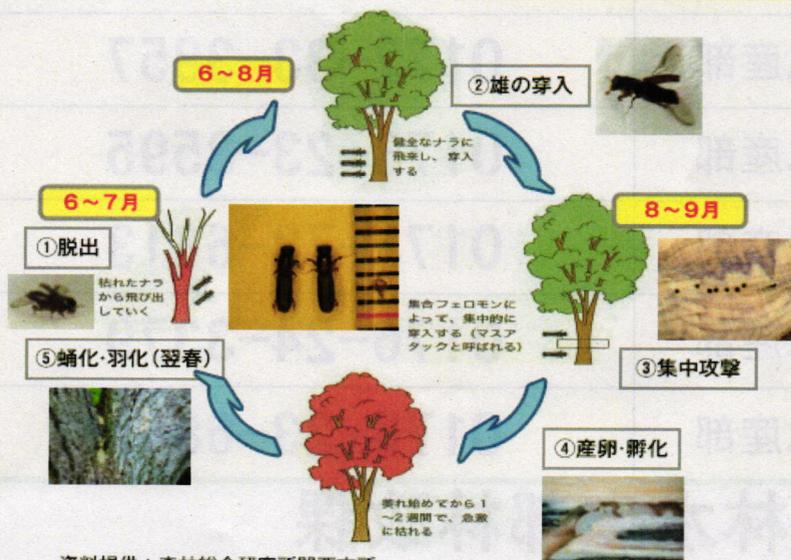


深浦町大間越地区の  
ナラ枯れ被害木(ミズナラ)  
写真: 青森県

平成28年10月以降、深浦町において本県で2例目となるナラ枯れ被害が確認されました。今後の被害拡大に備え、監視体制や情報収集の強化を図りながら、

**早期発見・早期駆除**を進めることが最も重要です。

## ナラ枯れサイクル



- ① 6月下旬から8月頃にかけて、体長5mmほどのカシナガキクイムシ（以下、カシナガ）が健全なナラ類の幹に穴を開けて内部に入り込み、内部を掘り進んでいきます。
- ② このとき、カシナガの体に付着したナラ菌が内部に持ち込まれます。（カシナガとナラ菌は共生関係にあります）
- ③ ナラ菌の繁殖により、通水が阻害された木は衰弱し、7月下旬から枯死が始まり、8月下旬に枯死が目立ち、9月下旬までにはほぼ枯死は終了します。
- ④ 翌年6月下旬頃、次世代の成虫が羽化・脱出し、近くの健全木に集中して穴を開け入り込みます。

資料提供：森林総合研究所関西支所